

窓

京都新聞 令和2年(2020年)5月6日(水)

大切な人を守るために行動

木津川市・喜多 京香(大学生・20)

新型コロナウイルスに感染拡大しないために家族と家で過ごす時間が増え、感じたことが二つある。

一つ目は、自粛することの大切さだ。きっかけは芸能人である志村けんさんが感染し亡くなられたことだ。私はコロナウイルスの影響による政治の動きや、日本、世界での死者数が毎日のように報道されていて

も、あまり危機感がなかった。しかし、つい最近までテレビに出演されていた人が亡くなられたことで、誰にでも感染し死んでしまう可能性があると分かり、怖さを実感した。また、私一人が必要な外出ですること、祖父母に感染してしまうことがあるかもしれない。だから今は自分自身と大切な人を守るために、自

粛することが大切だと感じた。

二つ目は、母の偉大さだ。家で過ごす時間が増え、一緒に料理をするようになってから、母が免疫力がつく野菜や体力が落ちないようにたんぱく質を取り入れたメニューなど、家族の健康を十分に考えた料理を作ってくれていることに気がついた。大切な家族を守る工夫や努力は小さなことの積み重ねだということが分かり、私も少しずつ積み重ねようと思った。

※無断転載不可